

岩トレ 奥多摩：つづら岩

- ◆日程 2016年5月21日(土)
◆メンバー L：須田、猪田、小林、山野井

5月21日(土) 天候：晴れ

猪田さんの車で登山口に到着、岩場まで1時間半ほど歩く、地図上で確認したが、綾滝を越えたあたりからかなりの急登。岩登りが初めての自分は多少緊張気味でしたがそれよりこの登りをこなせるのか見通しがない分きつく感じた。私はロープを持っていないのでその分は皆さんにご迷惑をかけている。東面の岩場に到着、準備をする。

小林さんと須田さんは二人で南面寄りの岩をアプローチし、私は猪田さんにロープの扱い方から八の字結び三点支持など基本的な事を教えてもらう。一般ルートに登る途中テラス付近まではなんとか上がったが、前に少し張り出た岩のあたりで「のつこす」ことができずにあえなく降りてしまう、2度ほど繰り返すが越せない、腕で越すのではなく足で立ち上がり越せたらと思うが難しい2日前にクライミングジムの前傾壁で同じことをして登れなかつた事を思い出す。その後猪田さんと小林さんが変わる。猪田さんと須田さんは南面寄りで楽しそうに行く。自分はビレイのやり方を教えていただく。

昼食の時間となり、南面側に移動し食事をする。昼食後、南面壁を見に行く。一般ルート・オケラルートなどいくつかのルートがあるようで、一グループがすでに上部で行う様子が見られる。猪田さんと須田さんは南面で、私は小林さんと緩斜面で懸垂下降の練習をする。何本か行った後、岩場で行う。一度上がったものの降りられず、上に出て南面側を上部から見学する。オケラルートは私でもやつと通過できるかというような岩の間を通るルートのように、すごい楽しそうでした。

クライミングは一人ではできないので、技術を身につけるとともに、チームや相手の事を考え呼吸を合わせ、ルールを守り行うことが大切だと感じました。しばらく懸垂下降の練習を行ううちに、室内履きなのでシューズがきつく痛くなった。

そのうち南面から須田さんと猪田さんが戻り適宜身支度をして下山する。帰りに天狗の滝を見る。この小天狗の滝の左面にも人工ルートがありました。1時間ほど歩き車へ戻る。

学ぶことが多く、机上学習の大切さを痛感する山行でした。



CT:登山口 7:30-綾滝 8:07-つづら岩 9:05/15:00-登山口 15:55

(記：山野井)